



1 手稲あけぼの公園



公園内のゾーニングを検討



銅板彫刻を公園へ設置



現地での現況の把握

DATA・BOARD①

- ①北海道札幌市手稲区曙5条3丁目
- ②面積：992㎡
- ③マウンド滑り台、木製デッキ、ベンチ
- ⑤町内活動でのイベント



札幌市では、社会環境や生活意識の変化、施設の老朽化などから、既存の公園をリフレッシュする個性あふれる公園整備事業を進めている。「手稲あけぼの公園」は、同事業の一環として再整備が行われたもので、地域住民の意見が十分に反映されるように住民参加型のワークショップ方式でプランニングを行った。意見交換にあたっては、町内会をはじめ、子供会、婦人会、老人会も独自のネットワークを生かし参加者を集めた。

この地域は手稲山を望む位置にあるため、公園のシンボルとして手稲山を模した白いマウンド滑り台を設置したほか、木陰で休める木製デッキや長いベンチなどを配置している。また、高齢者が散歩の途中に気軽に立ち寄り、公園で遊ぶ子供たちとふれあうことができるように、休養施設と遊戯施設が融和するように配慮されている。